2023 年 5 月 15 日（第 3 報）

関係者の皆様

（公社）日本地すべり学会九州支部
支部長 中村 真也

令和 5 年度日本地すべり学会九州支部学術講演会のオンラインライブ配信と参加依頼について

拝啓 緑風の候、皆様におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
(公社)日本地すべり学会九州支部の運営に御協力頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。
さて、当支部では、令和 5 年度、鹿児島県鹿児島市において下記の日程にて、学術講演会および現場見学会を開催致します。万障お繰り合わせの上、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。各県の会員や関係者の皆様にもお声かけ下さいますようお願い致します。

敬具

記

１．講演会，意見交換会および現地見学会の概略

日 付：令和 5 年 6 月 8 日（木）～6 月 9 日（金）
場 所：鹿児島大学郡元キャンパス稲盛会館
鹿児島市郡元 1 丁目 21-40　TEL 099-285-7701
※駐車場はありませんので公共交通機関や周辺駐車場をご利用下さい

6 月 8 日(木) 10:00～12:00　九州支部幹事会（第 2 回）
12:30～13:00　一般者受付
13:00～17:30　学術講演会（オンラインライブ配信あり）
基調講演　3 件
地頭薗 隆　先生（鹿児島大学教授）
酒匂 一成　先生（鹿児島大学教授）
鹿児島県土木部砂防課
一般講演　6 件
18:00～20:00　意見交換会：鹿児島大学稲盛記念館 2F ヴェジマルシェ'19
TEL 099-296-7704
6 月 9 日(金) 8:30～16:30（予定）　現地見学会「南さつま市平崎地区地すべり」(バスにて移動、長靴・ヘルメット持参、先着順定員 45 名(大型バス))

２．共催，後援
共催：(公社)日本地すべり学会九州支部，（一社）斜面防災対策技術協会九州支部，九州地区地すべり防止工事士会
後援：鹿児島県，(公社)鹿児島県地質調査業協会

３．CPD（JCCA）　　4.33 pt（講演会），3.75 pt（現地見学会）　＊申請中

４．参加者募集

参加申込は以下の URL より，申込期限までに申込事項を入力して下さい。参加費のお支払いは次のようにお願いいたします。

学術講演会（会場）の参加者：

当日の会場受付にて参加費お支払いをお願いいたします。なお，申込期限後のキャンセルはできませんので，後日請求書等をお送りいたします。

学術講演会（オンライン）の参加者：

振込先をご連絡いたします。6 月 5 日（月）までにお振込をお願いいたします。参加費支払い確認後にオンラインライブ配信用 URL を講演会当日までにお送りいたします。

参加申込：https://forms.office.com/r/hUAEjC5ig4

または

九州支部 HP より（https://landslide-soc-kyushu.jp/）

申込期限：6 月 1 日（木）

参加費

	学術講演会（会場）	学術講演会（オンライン）	意見交換会	現地見学会
日本地すべり学会員 共催団体会員*	2,000 円	2,000 円	5,500 円	4,000 円
一般	3,000 円	3,000 円	6,000 円	5,000 円
学生	無料	無料	2,000 円	2,000 円

*斜面防災対策技術協会，地すべり防止工事士会のいずれかの会員

※宿泊される方は各自で御予約願います。

＜問合わせ先＞

（公社）日本地すべり学会九州支部鹿児島大会事務局　本田信孝

住所：〒890-0008 鹿児島市伊敷五丁目 16 番 3 号　㈱日本地下技術 内

TEL：099-218-0020　E-mail：jls.kyushu (ｱｯﾄﾏｰｸ) gmail.com

以上

（公社）日本地すべり学会九州支部
令和５年度学術講演会プログラム

日　時　　令和５年６月８日（木）　13:00～17:30

開 会 挨 拶

中村　真也（公益社団法人日本地すべり学会　九州支部長）

来 賓 挨 拶

星野　久史（鹿児島県参事（兼）砂防課長）

講 演 会（オンラインライブ配信あり）

基 調 講 演　13:10～15:00

座長：本田　信孝（㈱日本地下技術）

1. 平成５年鹿児島豪雨災害と防災研究
（13:10～13:50）
地頭薗　隆（鹿児島大学農学部　教授）

2. 斜面防災分野における不飽和土質力学の適用
（13:50～14:30）
酒匂　一成（鹿児島大学工学部　教授）

3. 鹿児島県における最近の土砂災害対策
（14:30～14:50）
星野　久史（鹿児島県参事（兼）砂防課長）

4. 質疑応答
（14:50～15:00）

一 般 講 演　15:00～17:10

座長：上妻　良昌（川崎技術開発㈱）

5. 限られた対策範囲の中での対策事例
（15:00～15:20）
大鶴　泰史（㈱アイエステー）

6. 三次元モデルを用いた集水井工の住民説明について
（15:20～15:40）
深迫　祥太（㈱アイエステー）

7. 活動的地すべりで被災した集落の住民避難対応事例
（15:40～16:00）
松原　健悟（㈱ホウセイ・技研）

8. 軟弱地盤におけるアンカー設計の課題と対処事例
（16:00～16:20）
三田　和朗（㈱ホウセイ・技研）

（16:20～16:40）

9．2017 年九州北部豪雨災害における花崗岩風化土分布地域の地すべり機構の検討

○木村　匠（琉球大学農学部）
中村　真也（琉球大学農学部）

（16:40～17:00）

10．大規模盛土造成地における変動予測調査について

岩下　浩之（㈱日本地下技術）

（17:00～17:10）

11．質疑応答

総 合 討 論～よりよい防災・減災に向けて～　17:10～17:30

豪雨・地震時の警戒避難，事前対策，施設維持管理・長寿命化，防災教育，若手技術者育成ほか

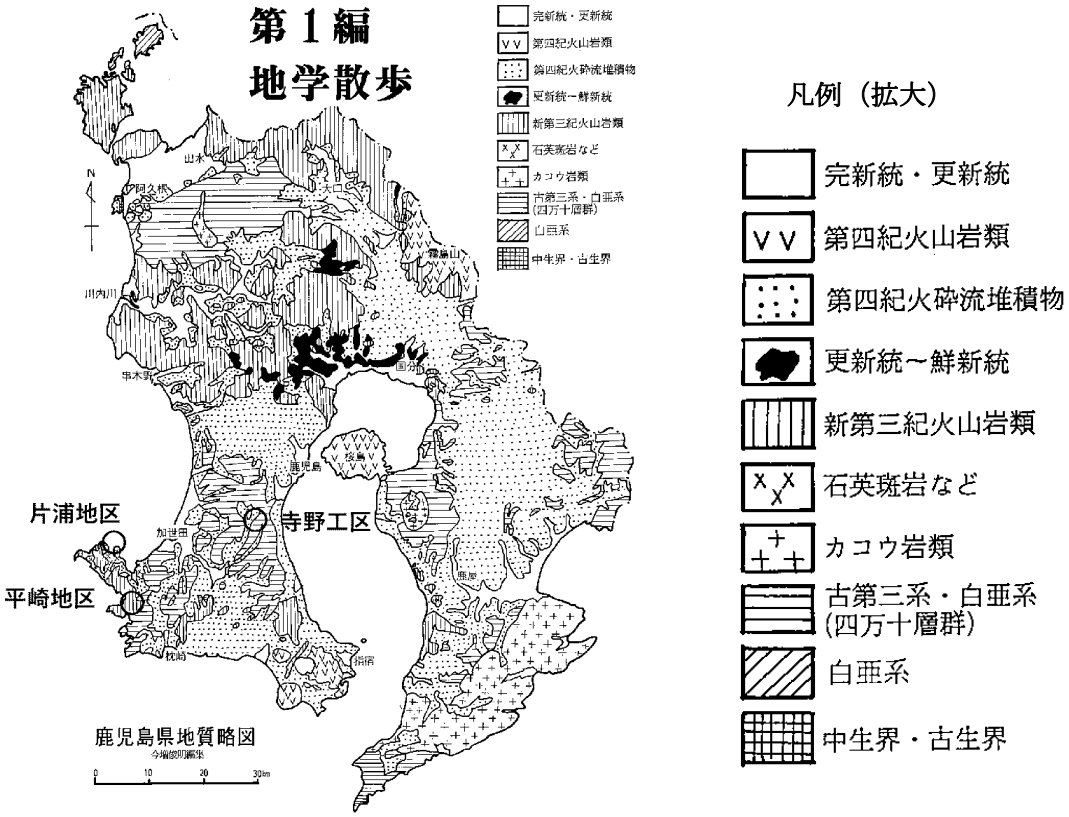
座長：木村　匠（琉球大学農学部）

共催：(公社)日本地すべり学会九州支部，（一社）斜面防災対策技術協会九州支部，九州地区地すべり防止工事士会

後援：鹿児島県，(公社)鹿児島県地質調査業協会

平崎地区地すべりコース：

8:30 鹿児島中央駅西口出発→9:00～10:15 南薩地域の地質および片浦地区の地すべり対策他説明（車内）→10:15～10:45 移動→10:45～12:00 平崎地区地すべり現地見学→12:00～12:30 移動→12:30～13:30 杜氏の里駐車場で昼食（弁当）→13:30～14:30 寺野工区法面対策と周辺の地形・地質の説明（車内）→14:30～15:00 知覧平和公園（休憩）→15:00～15:30 移動→15:30～15:45 寺野工区法面対策現場見学→16:30 鹿児島中央駅西口到着予定



片浦地区地すべり（車内）

概　要：国道 226 号に隣接する宅地および擁壁において幅約 80m，長さ約 110mの範囲で地すべり変状が認められた。

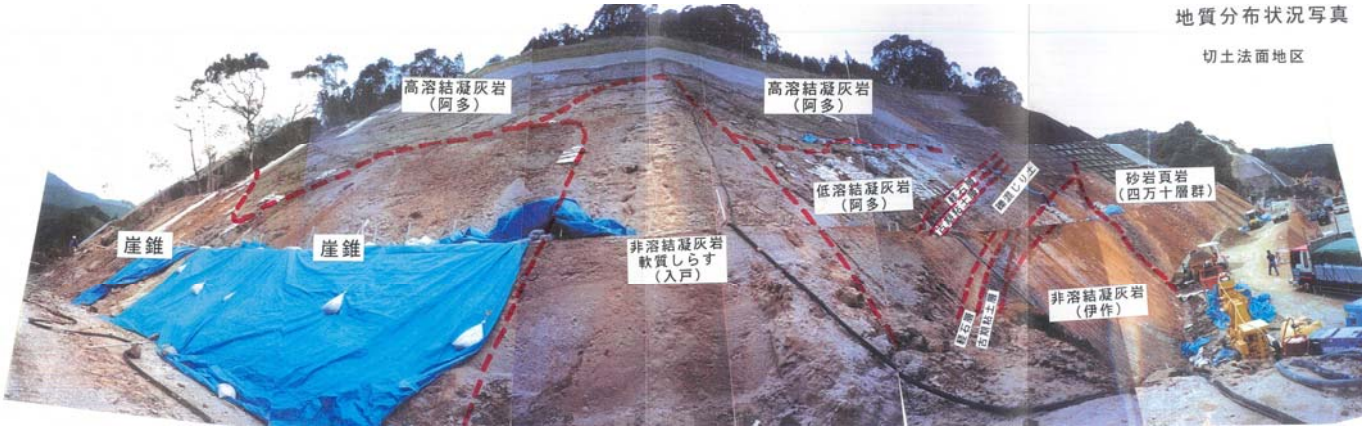
対策はプレキャスト受圧版を使用したアンカー抑止工と横ボーリング工である。

プレキャスト受圧版を使用したアンカー抑止工と横ボーリング工

寺野工区切土法面（現地）

概　要：県単道路整備事業に伴う 7 段～10 段の長大切土法面において，火砕流堆積物の溶結凝灰岩，しらす，軽石（ボラ）等の層が複雑に分布し，軟質なしらすや軽石層からは湧水があった。湧水箇所では浸食が著しく，また軟質なしらす層では小さなすべり現象もみられた。

対策は，アンカー抑止工と横ボーリング工，法面保護工として現場打吹付法枠工（枠内栗石），切土補強土工である。



アンカー（プレキャスト受圧版）と横ボーリング群

鉄筋
補強土工

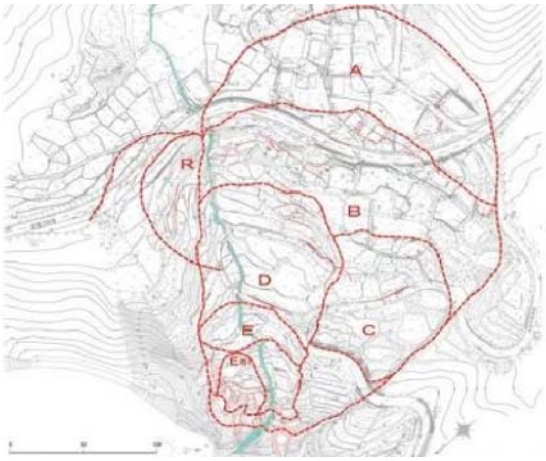
アンカー

法面上部は鉄筋補強土工

<u>平崎（ひらさき）地区地すべり（現地）</u>（担当：鹿児島県南薩地域振興局建設課、(株)ホウセイ・技研）

テーマ：平成 26 年 6 月 17 日から 23 日にかけての連続雨量 351mm の豪雨さらに平成 27 年 6 月 10 日の梅雨前線豪雨により発生した地すべり。

概　要：平崎地区地すべりは、平成 26 年 6 月豪雨で地すべりが急速に進行した。地すべり規模は、幅約 200m，長さ約 295m であり，大きく A～E のブロックと R ブロックに分けられる。（平成 30 年時点）
対策は，アンカー抑止工と集水井がメインとなっている。



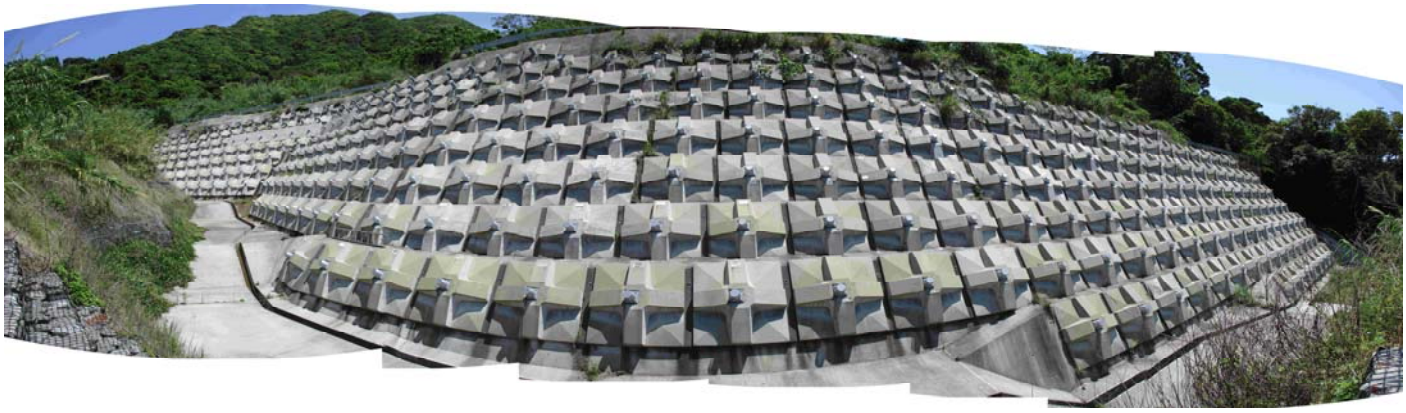
ブロック区分図

対策工平面図

「公益自主事業（九州技報）第 62 回 2018.03 論文」：地すべり災害への対応について，鹿児島県砂防課

平崎地すべり地遠景
（海岸近くにアンカー受圧版群が見られる）

集水井状況



アンカー設置状況（7 段，プレキャスト受圧版）と水抜き用の横ボーリング工